

アマゾンドットコム (AMZN)

【セクター】 インターネット通販

【市場】 NASDAQ

【企業概要】

ネット通販事業を北米のほかドイツ、日本、英国など先進国を中心に展開するグローバル大手です。取扱商品を書籍、各種メディアから、家電、日用品、衣料品などへ広げることで成長し、生鮮食料品・医薬品へも拡大しようとしています。また、クラウドサービスではITサービスの専門企業を抑えて世界トップシェアを誇り（図表1）、同社利益の成長を牽引しています。

【業績】（単位：売上、純利益は百万ドル、EPS、DPS、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%）

決算期	売上高	純利益	EPS	DPS	BPS	ROE	自己資本比率
15年12月期	107,006	599	1.26	0.00	28.4	5.0	20.7
16年12月期	135,987	2,376	4.91	0.00	40.4	14.5	23.1
17年12月期	177,866	2,248	4.56	0.00	57.3	9.6	21.1

※EPS：1株当たり利益、DPS：1株当たり配当、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率（出所）BloombergデータよりSBI証券が作成

【主要指標】

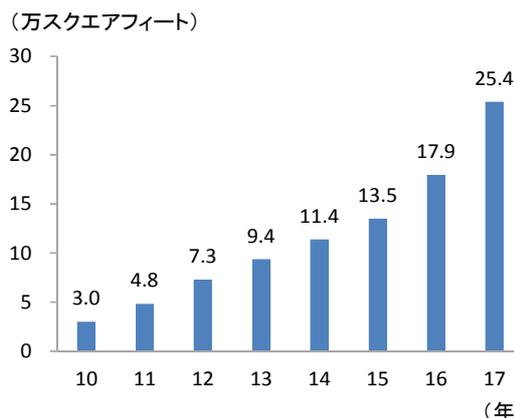
図表1 クラウドサービスの世界シェア（17年）

企業名	シェア (%)	シェア変化 (%ポイント)
アマゾンドットコム	10.5	0.7
マイクロソフト	9.3	1.9
IBM	8.9	-0.7
グーグル	4.5	0.6
セールスフォースドットコム	4.5	-0.2
オラクル	2.8	0.4

注：シェア変化は、16年から17年にかけてのシェアの変動を示します。

(出所) 各種報道等をもとにSBI証券が作成

図表2 倉庫・店舗・オフィス面積



(出所) 会社資料よりSBI証券が作成

【会社の見方】

事業拡大に非常に積極的で、配送センターを中心とする同社の事業展開面積は、過去5年で3.5倍に拡大しています（図表2）。投資が先行するため、ネット通販の利益は控えめです。売上は大まかに北米ネット通販が約6割、海外ネット通販が約3割、クラウドのAmazonウェブサービス（AWS）が約1割の構成ですが、営業利益では、ネット通販が約3割（赤字の海外を含めて）、AWSが約7割を占め、利益成長はAWSが牽引しています。

【見通し・注目点】

ネット通販では、食品スーパーのホールフーズを買収して生鮮食料品へ、また、オンライン薬局のピルパックを買収して医薬品への展開が注目されています。また、スマートスピーカーの市場を人工知能「Alexa」搭載の「Echo」で開拓して、米国でトップシェアを保有します。ホームオートメーションの要になる可能性があるため、将来の成長の種として注目されます。また、18年6月に米国でプライム会員の会費を値上げしており、会員特典の一つである動画コンテンツなどへの投資拡大が想定されます。

(SBI証券 投資情報部 榮 聡)

(更新日 18/8/28)

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。